

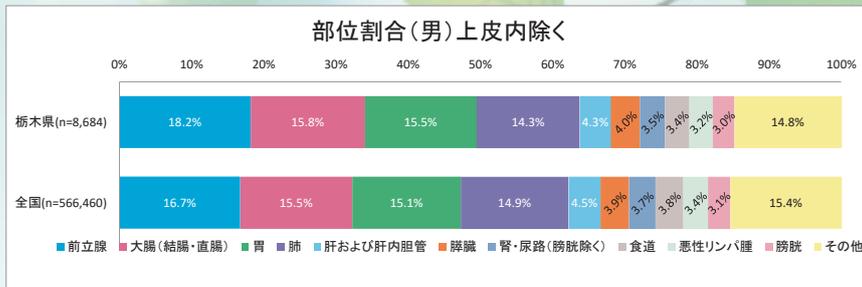
栃木県のがん 2019 (令和元年) 【概要版】 (栃木県がん実態調査報告)

全国がん登録とは

全国がん登録は、がんの罹患、治療、転帰等の状況を把握・分析することにより、科学的知見に基づくがん対策と情報提供の充実を図り、もってがん医療の質の向上及びがん予防の推進に資することを目的とする。対象は、全ての病院及び指定された診療所から都道府県知事に届け出られた者及び市町村長から報告される死亡者情報票によって把握されたがんによる死亡者で、2019年1月1日～12月31日までに診断された症例である。

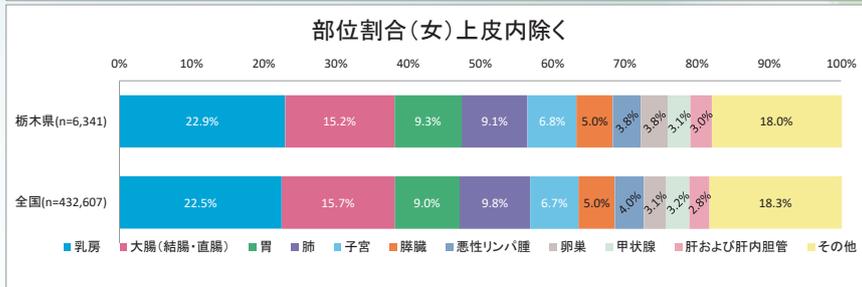
栃木県におけるがん罹患の概要

2019年に栃木県で新たに診断されたがんは15,025件(男性8,684件、女性6,341件)



栃木県で罹患数が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男	前立腺	大腸	胃	肺	肝臓
女	乳房	大腸	胃	肺	子宮

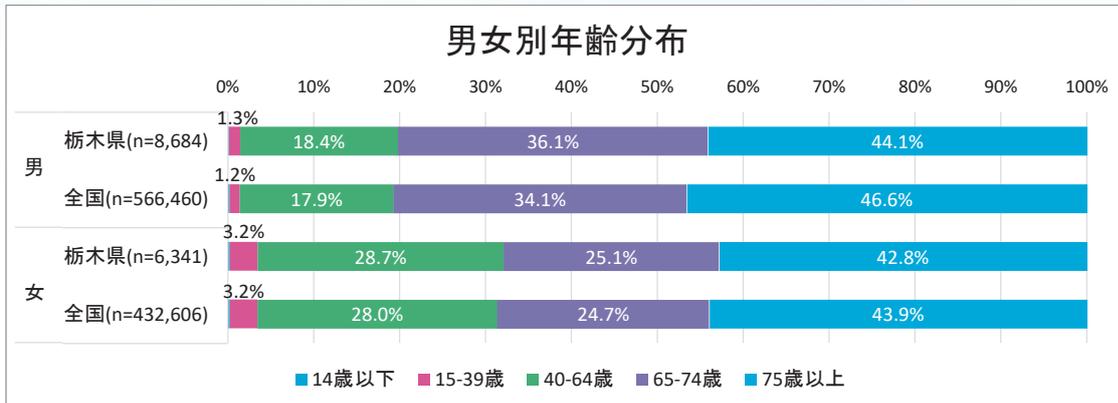


全国で罹患数が多い部位

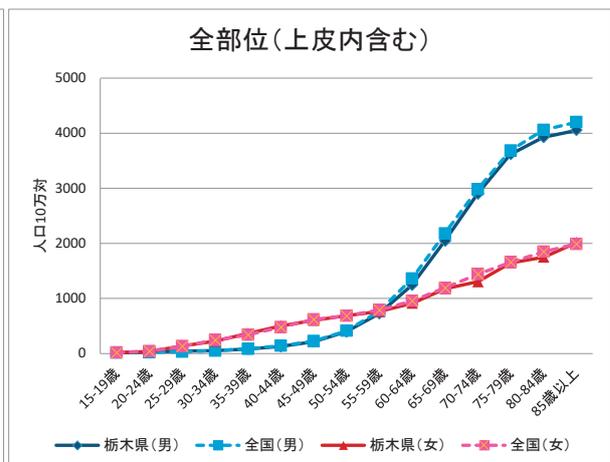
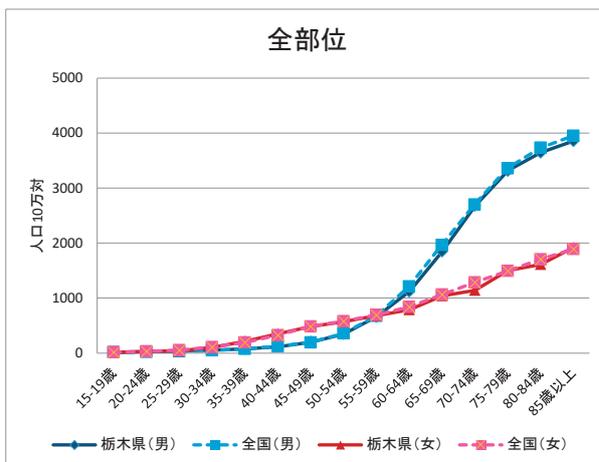
	1位	2位	3位	4位	5位
男	前立腺	大腸	胃	肺	肝臓
女	乳房	大腸	肺	胃	子宮

年齢別罹患

65歳以上の割合は男性80.2%、女性67.9%。栃木県の方が若い年齢の割合が高かった。

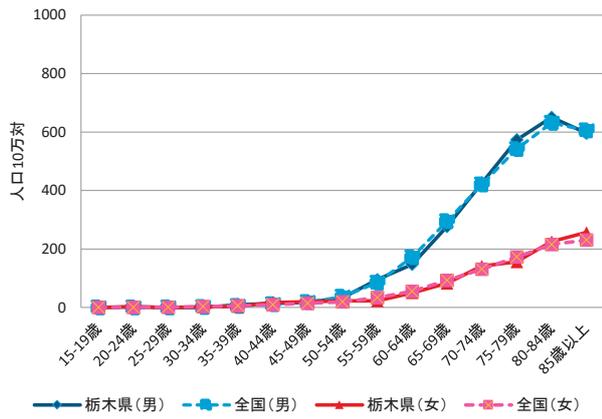


年齢階級別罹患率は、30～50歳代で女性が高く、60歳以上では男性が高くなる。男性女性とも年齢階級が高くなるにつれて罹患率は上昇する。その傾向は全国と同様。

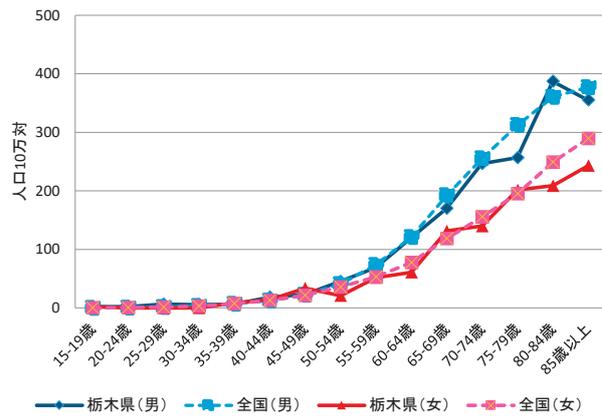


多くのがんは年齢が高くなるほど罹りやすい傾向があるが、女性の乳がん、子宮頸がんはより若い年齢でも罹患する。

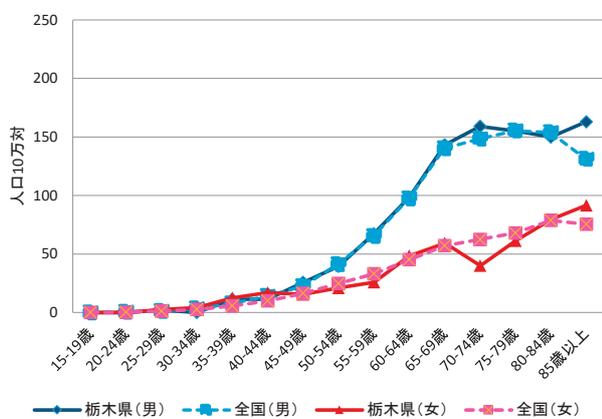
胃



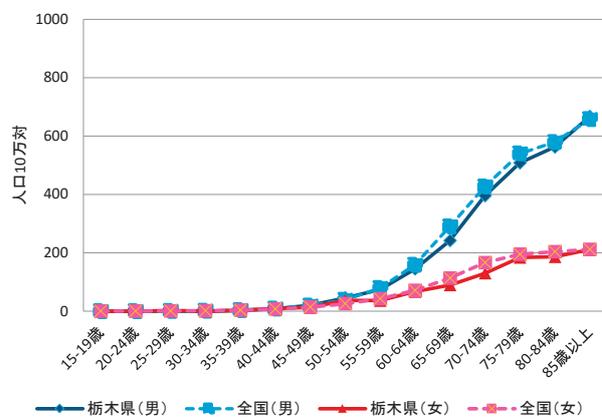
結腸



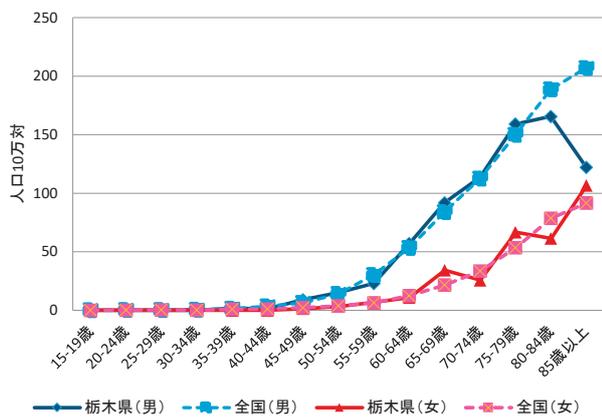
直腸



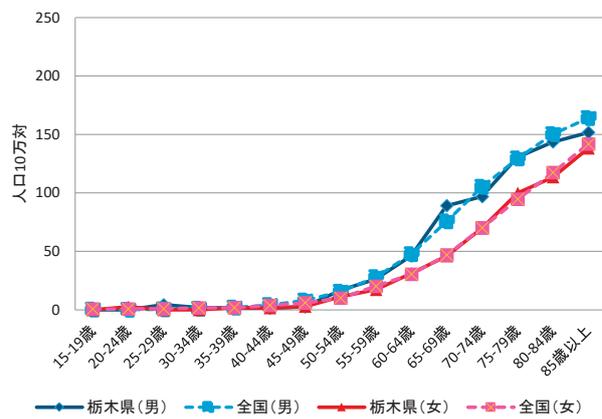
肺



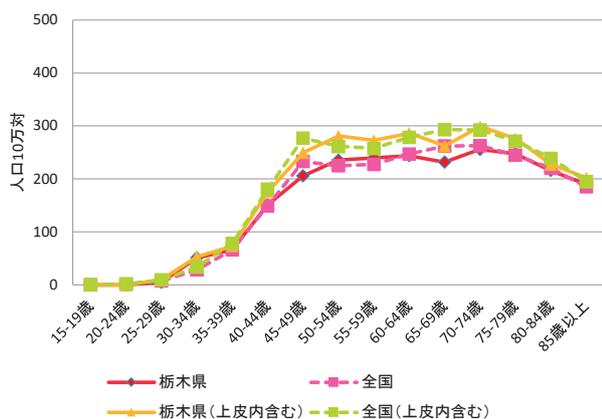
肝臓



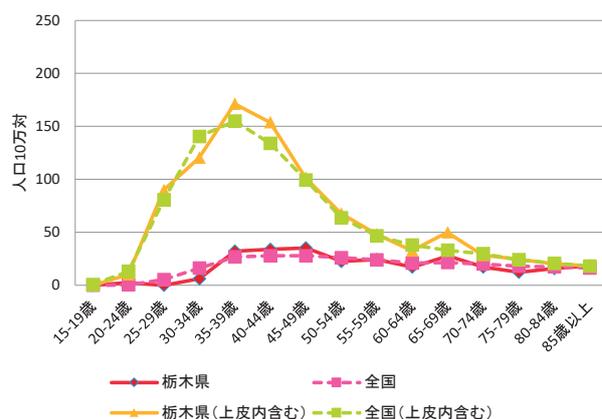
膵臓



乳房(女性)

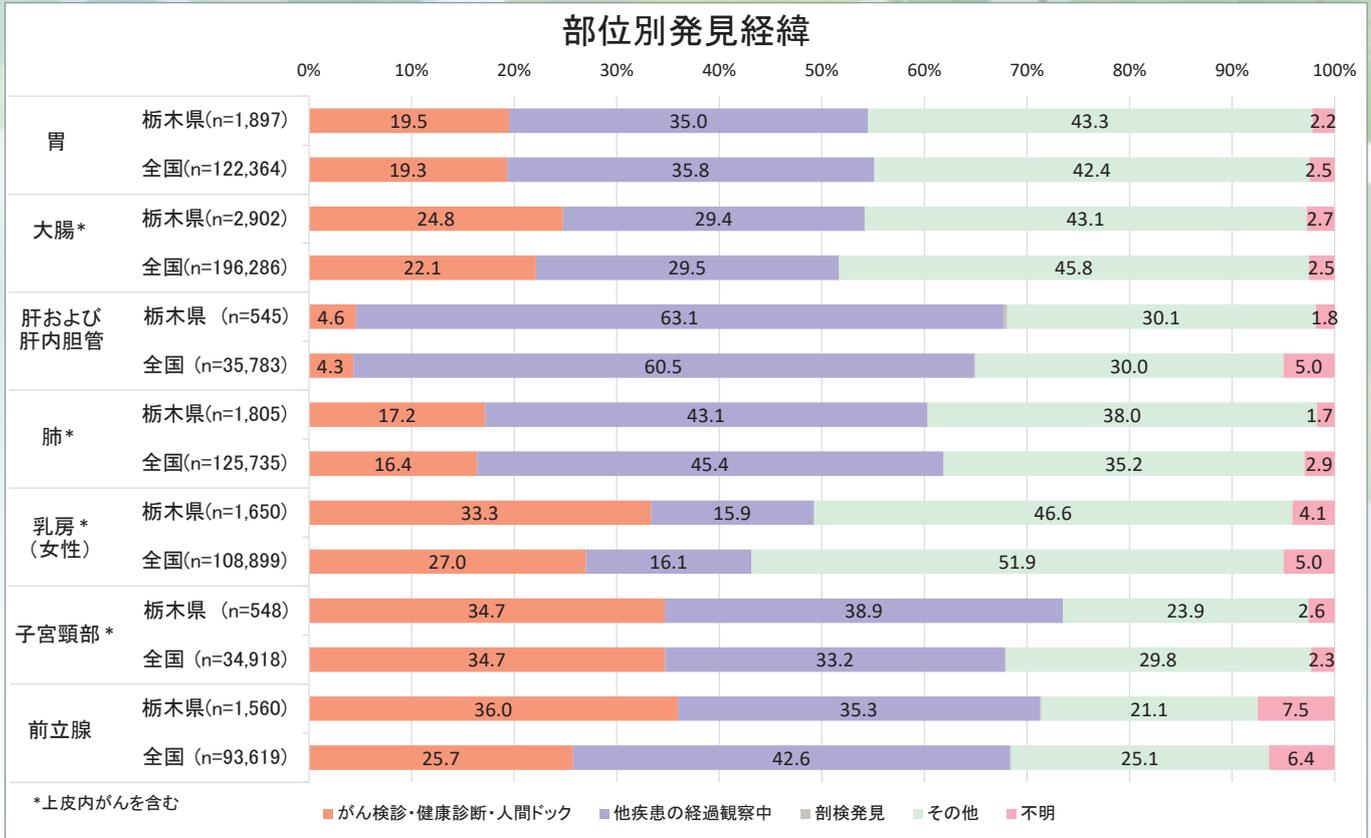


子宮頸部



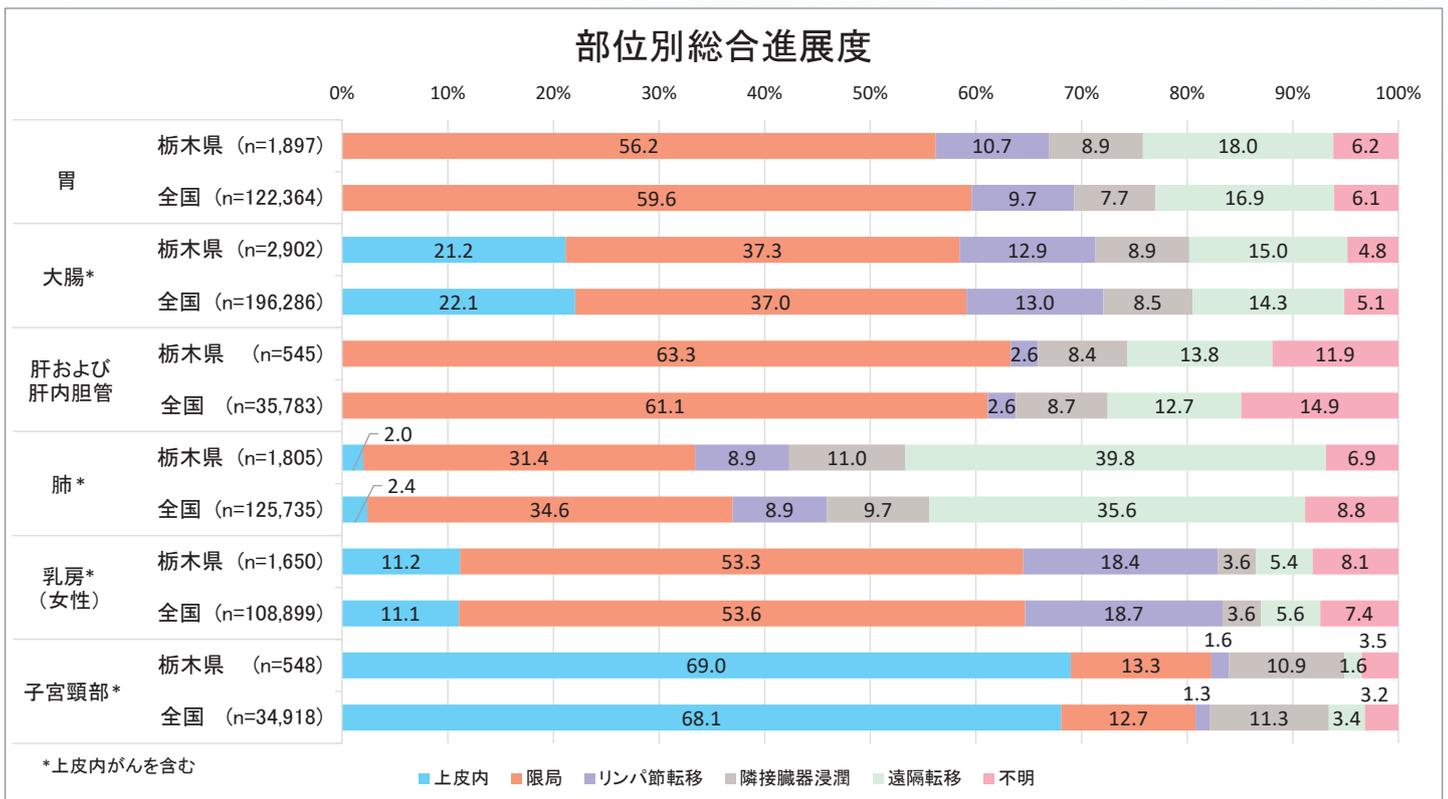
発見経緯

部位別発見経緯では、がん検診・健康診断・人間ドックによる検診等発見割合が、胃(19.5%)、大腸(24.8%)、肺(17.2%)、乳房(33.3%)、子宮頸部(34.7%)、前立腺(36.0%)であった。乳房、前立腺は栃木県の検診等発見割合が全国より高かった。



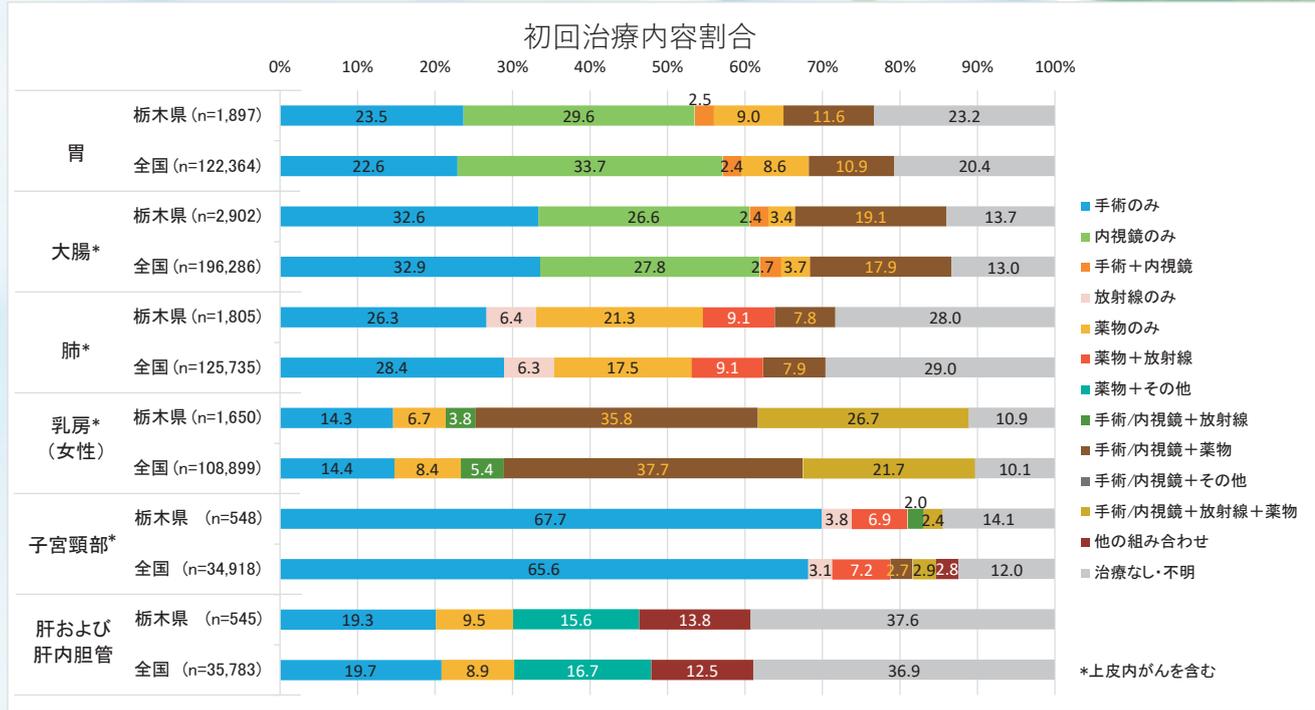
進展度

胃、大腸のように上皮内・限局が50~60%を占めるもの、肝および肝内胆管、乳房、子宮頸部のように60%を超えるもの、反対に肺のように40%に満たないものがあった。栃木県は全国と比較して、胃、大腸、肺において上皮内・限局の割合が低く、遠隔転移の割合が高かった。



初回治療

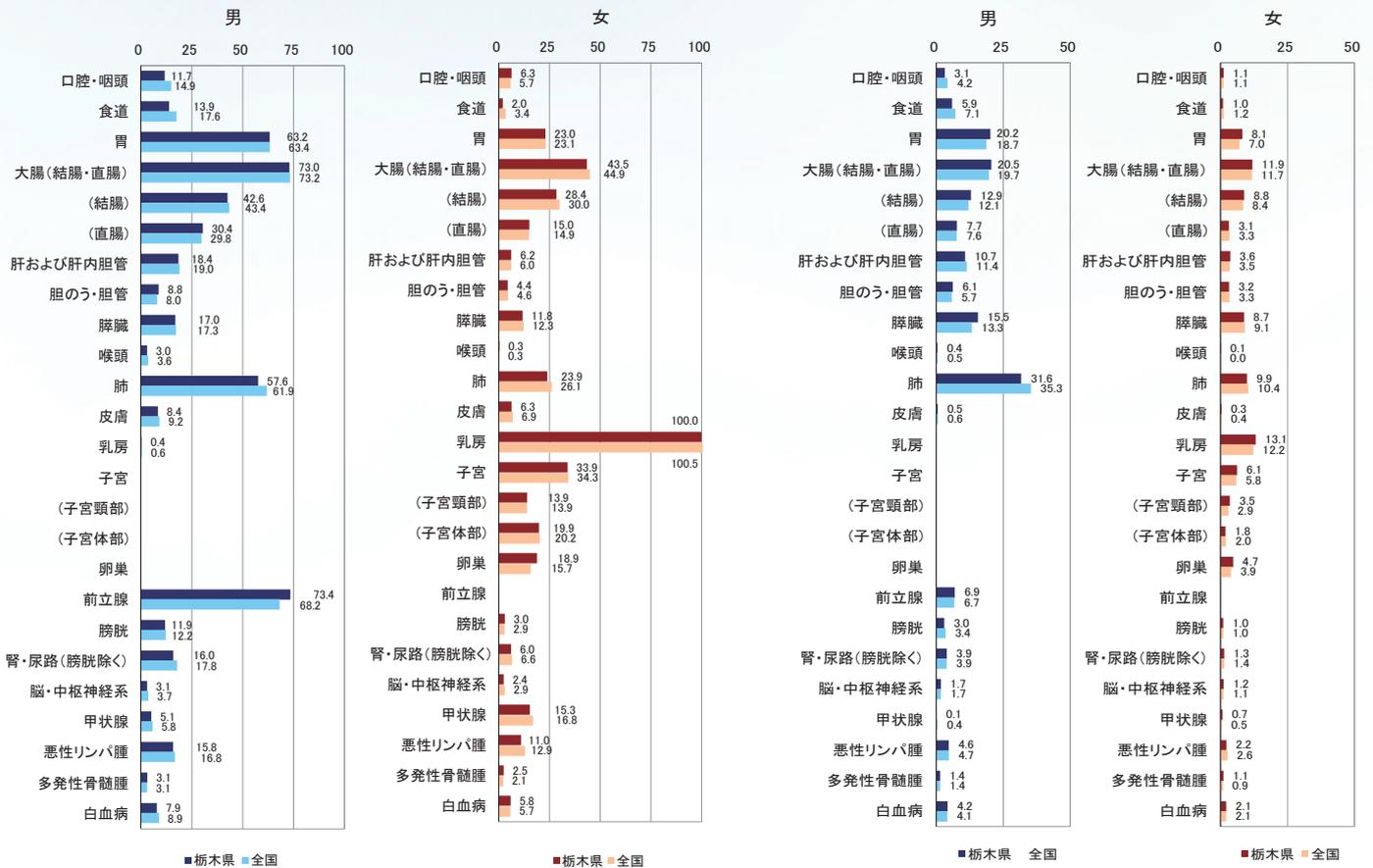
初回治療は部位によって特徴的であり、栃木県と全国は同じ傾向である。



罹患率と死亡率の全国比較

【年齢調整罹患率】

【年齢調整死亡率】



栃木県のがん 2019(令和元年)

(2023(令和5年)3月)

編集 地方独立行政法人栃木県立がんセンター

発行 栃木県保健福祉部 健康増進課

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/welfare/gantaisaku/gantourokuhoukokusho.html>